

# 病 院 増 床 事 前 協 議 書

(一般財団法人甲南会 甲南病院)

## 病院増床事前協議書

## 1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏名		医籍番号	
住所	TEL		
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区分	開設・管理・勤務	
	施設の種類	病院・診療所	病床数 一般療養 精神 結核 床
	名称		
	所在地		
	診療科目		

(開設者が法人である場合)

法人の種類	一般財団法人	設立年月日	1930年12月27日		
名称	一般財団法人 甲南会				
主たる事務所の所在地	神戸市東灘区鴨子ヶ原 1-5-16 TEL 078-854-4054				
代表者	氏名	平生 誠三	住所		
法人の目的、事業	<p>地域住民の健康増進を図るため、病院、介護老人保健施設等を設置管理し、公衆の保健向上に寄与することを目的とする。</p> <p>① 病院の運営 ② 介護老人保健施設の運営 ③ 訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の運営 ④ 看護学生を看護師に育成するため、奨学金を支給する事業 ⑤ 看護師及び医師の幼児を預かり保育する事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	病院	甲南病院	神戸市東灘区鴨子ヶ原 1-5-16	380	
	病院	六甲アイランド甲南病院	神戸市東灘区向洋町中 2-11	302	
	病院	甲南加古川病院	加古川市神野町西条 1545-1	238	
	介護老人保健施設 訪問看護施設	甲南介護老人保健施設 甲南訪問看護ステーション	神戸市東灘区向洋町中 3-2-5 神戸市東灘区向洋町中 3-2-5		
自己資本比率 (医療法人の場合)					

2-1. 増床の内容に関する事項(甲南病院)

(1) 基本的事項

名 称	一般財団法人甲南会 甲南病院	
開 設 の 場 所	神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-6	
増 改 築 予 定 年 月	平成34年4月	
診 療 科 目	旧	内科/消化器内科/神経内科/緩和ケア内科/外科/整形外科/形成外科/ 小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/ リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/病理診断科
	新	循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/ 神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/ 精神科/消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/ リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/ 産婦人科/形成外科/麻酔科/歯科口腔外科/病理診断科/救急科
病 床 数	旧	380床(一般 358床・療養 22床・精神 0床・結核 0床)
		病床機能区分(医療法施行規則第30条の33の2)による分類 許可病床数400床(平成26年度病床機能報告) (高度急性期0床、急性期336床、回復期0床、慢性期64床) 稼働病床数341床(平成26年度病床機能報告) (高度急性期0床、急性期277床、回復期0床、慢性期64床)
	新	許可病床数380床(平成27年度病床機能報告) (高度急性期0床、急性期316床、回復期42床、慢性期22床) 稼働病床数321床(平成27年度病床機能報告) (高度急性期0床、急性期257床、回復期42床、慢性期22床)
		480床(一般 480床・療養 0床・精神 0床・結核 0床) 病床機能区分(医療法施行規則第30条の33の2)による分類 (高度急性期8床、急性期472床、回復期0床、慢性期0床)
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	(本館3階病棟) 33室47床 利用率61.7% 7対1入院基本料
		(本館4階病棟) 33室47床 利用率72.3% 7対1入院基本料
		(本館5階病棟) 33室45床 利用率0.0%
		(東館2階病棟) 17室46床 利用率73.0% 7対1入院基本料
		(東館3階病棟) 17室46床 利用率79.0% 7対1入院基本料
		(南館2階病棟) 15室49床 利用率0.0%
		(南館3階病棟) 6室14床 利用率0.0%
		(新館1階病棟) 22室22床 利用率69.4% 緩和ケア病棟入院料
		(新館2階病棟) 12室42床 利用率83.7% 地域包括ケア病棟入院料
		(新館3階病棟) 22室22床 利用率99.5% 療養病棟入院基本料
		(中病棟5階病棟) 20室50床 利用率85.0% 7対1入院基本料
(中病棟6階病棟) 20室50床 利用率85.0% 7対1入院基本料		
(西病棟2階病棟) 1室8床 利用率85.0% 特定集中治療室管理料		

	新	(西病棟 5 階病棟) 20 室 41 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(西病棟 6 階病棟) 20 室 41 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(北病棟 5 階病棟) 15 室 42 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(北病棟 6 階病棟) 15 室 42 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(北病棟 7 階病棟) 14 室 23 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(南病棟 1 階病棟) 23 室 47 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(南病棟 2 階病棟) 23 室 47 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(東病棟 1 階病棟) 22 室 22 床 利用率 85.0% 緩和ケア病棟入院料		
		(東病棟 2 階病棟) 12 室 42 床 利用率 85.0% 7 対 1 入院基本料		
		(東病棟 3 階病棟) 19 室 25 床 利用率 85.0% 小児入院医療管理料		
増床の理由及び 病床数設定の考え方	基準看護又は新看護の内容	病床の利用内容に記載		
	規則第 30 条の 32 第 1 項の規定による特例	無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>提供する医療の内容</li> <li>当該地域の医療事情</li> <li>近隣医療機関との連携等</li> </ul>	<p>当院は元文部大臣の平生夙三郎が、昭和 9 年に「悩める病人のための病院たらん」を理念に開設した歴史ある病院である。しかし、当時建設された本館は老朽化が進むと共に、昨年実施した耐震診断ではその基準を満たすものではなかった。一方、当院から車で 15 分の六甲アイランドに平成 4 年に当会が開設した六甲アイランド甲南病院も、建築後間もなく 25 年が経過することから設備の老朽化が目立つと共に、病室等アメニティは患者の要求に応えることが出来ない状況になっている。現在、神戸市東部（東灘区、灘区）において 200 床以上の急性期病院はこの 2 病院のみであるが、診療圏が大きく重複していることから、この度の甲南病院の本館建替を機に 2 病院の医療機能を分化し、甲南病院は急性期医療中心の医療機関へ、また六甲アイランド甲南病院は回復期医療中心の医療機関に再生し、それぞれの病院の医療サービスの充実を図るものとする。</p> <p>新甲南病院では、4 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）、母子周産期、救急、認知症、感覚運動器（眼科、耳鼻咽喉科、整形外科）を強化し、地域支援病院を目指すと共に、神戸大学医学部の研修病院として医師育成に注力する。一方、六甲アイランド甲南病院は、地域包括ケアの一翼を担うことを使命とし、リハビリテーションを強化し、甲南病院を含めた急性期医療機関から回復期の患者の受け入れをおこない在宅医療へ繋げていくものとする。</p>			
	敷地の状況 (増築する場合)	面積	20,469.60 m <sup>2</sup>	
自己所有予定の場合		取得の状況	取得済 ・ 取得交渉中 ・ 未交渉	
		交渉状況		
自己所有予定でない場合		所有者	一般財団法人 住吉学園	
		使用形態	賃貸借 ・ その他 ( )	
他法令解除の必要性	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 内容 [ ]			

建物の状況 (増築する場合)	構造概要	鉄筋コンクリート造 地下3階・地上6階建 延床面積 39,057 m <sup>2</sup>
	所有予定者	一般財団法人 甲南会
	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他 ( )

(2) ー1 施設及び構造施設に関する事項 (甲南病院変更前)

法定施設	診察室	23ヶ所 約 276 m <sup>2</sup> (科目: 内科/消化器内科/神経内科/緩和ケア内科/外科/整形外科/形成外科/小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線科)			
	処置室	8ヶ所 約 124 m <sup>2</sup> (科目: 内科/消化器内科/神経内科/緩和ケア内科/外科/整形外科/形成外科/小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線科)			
	手術室	3ヶ所	約 109 m <sup>2</sup>	臨床検査施設	4ヶ所 約 514 m <sup>2</sup>
	エックス線装置	6台			
	調剤所	1ヶ所	約 214 m <sup>2</sup>	消毒施設	1ヶ所 約 137 m <sup>2</sup>
	給食施設	1ヶ所	約 404 m <sup>2</sup>	洗濯施設	1ヶ所 約 15 m <sup>2</sup>
	給水施設	75 t 受水槽		暖房施設	FCU、EHP、GHP
	汚物処理施設	9ヶ所	約 68 m <sup>2</sup>		
	分べん室	0ヶ所	0 m <sup>2</sup>	新生児の入浴施設	0ヶ所 0 m <sup>2</sup>
	機能訓練室	1ヶ所	約 345 m <sup>2</sup>	談話室	3ヶ所 約 188 m <sup>2</sup>
病室	食堂	3ヶ所	約 322 m <sup>2</sup>	浴室	11ヶ所 約 238 m <sup>2</sup>
	6床室	10室	約 348 m <sup>2</sup>	5床室	2室 約 58 m <sup>2</sup>
	4床室	13室	約 468 m <sup>2</sup>	3床室	10室 約 250 m <sup>2</sup>
病室	2床室	3室	約 56 m <sup>2</sup>	1床室	160室 約 2,880 m <sup>2</sup>
	その他の施設				
	階段、エレベーター	室内直通階段	10ヶ所、幅 1,2m、蹴上げ 18 cm、踏面 26 cm		
避難階段		13ヶ所	エレベーター	6ヶ所	
放射線関係備	診療用エックス線装置	有	〔直接撮影装置、間接撮影装置〕		無
	診療用高エネルギー放射線発生装置	有	〔透視装置、CTスキャナー、その他 (フッ素造影)〕		無
	診療用放射線照射装置	有	〔直線加速装置、ベータトロン、(リニアック、ライナック)、その他 ( )〕		無
	診療用放射線照射装置	有	〔 <sup>60</sup> Co 照射装置、 <sup>125</sup> I 骨成分分析装置、その他 ( )〕		無
	診療用放射線照射器具	有	〔管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、その他 ( )、使用核種 ( )〕		無
診療用放射線同位元素	有	〔(使用核種)〕		無	

臨床検査施設	自動分析器、超音波装置等	消毒施設	洗浄機、オートクレーブ等
消防用施設	スプリンクラー、連結送水管	防火施設	防火戸
その他の施設			

(2) — 2 施設及び構造施設に関する事項 (甲南病院変更後)

法定施設	診 察 室	64ヶ所 約 760 m <sup>2</sup> (科目: 循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/精神科消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/産婦人科/形成外科/歯科口腔外科)		
	処 置 室	28ヶ所 約 430 m <sup>2</sup> (科目: 循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/精神科消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/産婦人科/形成外科/歯科口腔外科)		
	手 術 室	10ヶ所 約 490 m <sup>2</sup>	臨床検査施設	4ヶ所 約 853 m <sup>2</sup>
	エックス線装置	9台		
	調 剤 所	1ヶ所 約 302 m <sup>2</sup>	消 毒 施 設	1ヶ所 約 350 m <sup>2</sup>
	給 食 施 設	1ヶ所 約 631 m <sup>2</sup>	洗 濯 施 設	3ヶ所 約 42 m <sup>2</sup>
	給 水 施 設	144 t 受水槽	暖 房 施 設	FCU、EHP、GHP
	汚物処理施設	17ヶ所 約 156 m <sup>2</sup>		
	分 べ ん 室	3ヶ所 約 80 m <sup>2</sup>	新生児の入浴施設	1ヶ所 約 6 m <sup>2</sup>
	機 能 訓 練 室	2ヶ所 約 340 m <sup>2</sup>	談 話 室	7ヶ所 約 267 m <sup>2</sup>
食 堂	2ヶ所 約 542 m <sup>2</sup>	浴 室	22ヶ所 約 232 m <sup>2</sup>	
病 室	4 床室	83室 約 2,988 m <sup>2</sup>	1 床室	148室約 2,664 m <sup>2</sup>
	床室	室 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>
	床室	室 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>
その他の施設	ICU 8床 未熟児 4床			
階段、エレベーター	室内直通階段	10ヶ所、 幅 1.2m、 蹴上げ 17 cm、 踏面 28 cm		
	避難階段	12ヶ所	エレベーター	12ヶ所

設 射 線 関 係	診療用エク ス線装置	有 ( 直接撮影装置、間接撮影装置 透視装置、CTスキャナー、その他 (マンモグラフィ) ) ) ・ 無		
	診療用高エネルギー 放射線発生装置	有 ( 直線加速装置、ベータトロン、 (リニアック、ライナック)、その他 ( ) ) ) ・ 無		
	診療用放射線 照射装置	有 ( <sup>60</sup> Co 照射装置、 <sup>123</sup> I 骨成分分析装置、 その他 ( ) ) ) ・ 無		
	診療用放射線 照射器具	有 ( 管、針、球、ビーズ、板、アプリケーター、 その他 ( ) )、使用核種 ( ) ) ) ・ 無		
	診療用放射線 同位元素	有 ( (使用核種) <sup>67</sup> Ga・ <sup>99m</sup> Tc・ <sup>123</sup> I・ <sup>131</sup> I・ <sup>111</sup> In <sup>133</sup> Xe・ <sup>201</sup> Tl・ <sup>81</sup> Rb・ <sup>81m</sup> Kr・ <sup>99</sup> Mo ) ) ) ・ 無		
備	臨床検査施設	自動分析器、超音波装置等	消毒施設	洗浄機、オートクレーブ等
	消防用施設	スプリンクラー、連結送水管、 泡消火	防火施設	防火戸
	その他の施設			

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員	職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員
	前	後				前	後		
医 師	32.9	43.6	154	60	薬 剤 師	10.3	14.2	23	15
歯 科 医 師	0	4	5	0	栄 養 士	1	1	8	4
看 護 師	123.8	162	410	213.5	放射線技師			28	9.9
准 看 護 師			9	9	調 理 師			0	0
看 護 補 助 者	5.2	0	94	31.7	事 務 員			70	41.5
臨床(衛生)検査技師			30	19.8	そ の 他			38	24.5
理学療法士					28	14.8	計	905	446.7
作業療法士	8	3							

(4) 人員算定根拠 (計算式) 必要数

(前) 平均入院患者数 : 321床 (療養 21床 一般 300床) 外来患者数 : 560名

(後) 平均入院患者数 : 408床 (85%稼働 一般 408床) 外来患者数 : 780名

上記内 : 9床 (歯科入院患者数)

上記内 : 20名 (歯科外来患者数)

医師 療養患者数/3 + 一般入院患者数 + 外来患者数/2.5 = A

(A-52) /16+3=標準医師数

前 21/3+300+560/2.5=7+300+224=531

(531-52) /16+3=32.9

後 (408-9) + (780-20) /2.5=399+304=703

(703-52) /16+3=43.6

歯科医師 療養患者数 + 一般入院患者数 = A 実状必要数=外来患者数/20

(A-52) +3=標準医師数

後 (9-52) +3=3 標準医師数+実状必要数=3+20/20=4

看護師 療養患者数/4 + 一般入院患者数/3 + 外来患者数/30

前 21/4+300/3+560/30=5.2+100+18.6=123.8

後 408/3+780/30=136+26=162

看護助手 療養患者数/4

前 21/4=5.2

薬剤師 療養入院患者数/150 + 一般入院患者数/70 + 外来処方箋数/75

外来処方箋数 : 前 450 後 630

前 21/150+300/70+450/75=0.1+4.2+6=10.3

後 408/70+630/75=5.8+8.4=14.2

栄養士 100床以上 1名以上

(5) 関係者との協議に関する事項

関 係 者	協 議 状 況
地 元 医 師 会	11月1日、東灘区医師会の意見書取得済み
市保健医療審議会 医療専門分科会	11月9日開催の専門分科会で審議予定
そ の 他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、予防衛生課等が意見を聞き意見書等を添付すること。

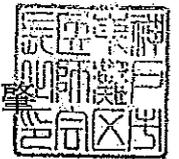
平成28年11月1日

一般社団法人甲南会

理事長 平生 誠三 様

神戸市東灘区医師会

会 長 長坂



甲南病院増床の事前協議について

平成28年10月21日に依頼のありました「甲南病院の増床に係る事前協議」について、承認いたします。

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書  
(甲南病院)

病院名	一般財団法人甲南会 甲南病院	所在地	神戸市東灘区鴨子ヶ原 1-5-6		
電話番号	078-851-2161	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色 (提供しようとする医療の内容)

(1) 医療の分野について (対象患者、診療科目等について)

4 疾病 (がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病)、母子周産期、救急、認知症、感覚運動器 (眼科、耳鼻いんこう科、整形外科) を強化し、地域支援病院を目指す。内科は、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、内科、神経内科、腫瘍・血液内科、緩和ケア内科に、また外科は、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科に細分化し、神戸大学医学部からのそれぞれの分野の専門医師派遣による良質な医療の提供を行う。

(2) 医療の専門性について (設備・医療スタッフ等についても記入すること。)

診療の軸となる次に掲げる 10 の診療センターの充実を図る。

- ・消化器センター (消化器内科/消化器外科/放射線科)
- ・呼吸器センター (呼吸器内科/呼吸器外科/腫瘍・血液内科/放射線科/リハビリテーション科)
- ・脳卒中センター (脳神経外科/神経内科/救急科/リハビリテーション科)
- ・糖尿病センター (内科)
- ・血液浄化センター (腎臓内科/救急科 (透析ベット 31))
- ・創傷センター (形成外科/循環器内科/放射線科/心臓血管外科/内科/腎臓内科)
- ・救急センター (救急科/循環器内科/脳神経外科他)
- ・認知症疾患医療センター (精神科/神経内科)
- ・アイセンター (眼科)
- ・中耳サージカルセンター (耳鼻いんこう科)

手術室は 10 室 (ハイブリット 1 室を含む) 設置し、同じフロアに ICU 病棟 (8 床) を整備する。また、救急は初療室及び診察室をそれぞれ 4 室整備し、24 時間 365 日対応する。

次に掲げる放射線診断機器を整備する。

- ・MRI (2 台) ・CT (2 台) ・X線TV (3 台) ・X線 (3 台) ・マンモグラフィ (1 台)
- ・DEXA (1 台) ・アンギオCT (1 台) ・アンギオ (1 台) ・PET (1 台)
- ・SPECT (1 台) 等

医療スタッフは、医師 153 人 (臨床研修医 24 人含む)、歯科医師 6 人 (臨床研修医 2 人含む)、薬剤師 23 人、看護師・准看護師 419 人、看護補助者 94 人、臨床検査技師 30 人、放射線技師 28 人、理学療法士 28 人、作業療法士 8 人、栄養士 8 人、事務その他 108 人のトータル 905 人体制で対応する。

## 2. 当該診療圏域の状況

### (1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸	東灘区・灘区・中央区
阪神南	芦屋市・西宮市

### (2) 患者の特色及び医療ニーズについて

現在、厚生労働省では団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる「2025年モデル」の構築を目指している。東灘区を中心とした地域の高齢化率はまだ全国的には高くはないが、今後高くなるのは間違いなく、4疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）、認知症、感覚運動器（眼科、耳鼻咽喉科、整形外科）へのニーズは救急医療を含めて大きくなると考えている。また、近隣病院でも撤退が相次ぐ母子周産期医療へのニーズは、これから更に大きくなる。

### (3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

#### ① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備考
六甲アイランド甲南病院	302	全科	急性期と回復期に機能分化	
東神戸病院	166	リハビリ	需要>供給（現状維持）	
宮地病院	88	リハビリ	需要>供給（現状維持）	
住吉川病院	45	透析	需要>供給（現状維持）	

#### ② 診療所の状況について

近隣の開業医とは、東灘区医師会を通じて情報交換や研修を行っている。また、当院では地域医療連携室を設置しており、患者紹介のあった開業医への返書管理や広報誌の送付等情報交換を密にしている。その他、中央放射線部においては、開業医のニーズが高いCTやMRI検査について24時間何時でも受付を行っている。

### (4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

患者の中心は東灘区の住民となる。同区の人口は現在214千人になるが、急性期（DPC）病院は、甲南病院と六甲アイランド甲南病院の2病院のみである。しかし、どちらの病院も全ての診療科の医師が充足していることはなく、多くの患者が中央区へ流れている。高齢化が進む中、脳神経外科や泌尿器科の手術（入院）患者を殆ど受け入れ出来ないのが、救急医療に与える影響も含めてその大きな原因と考えている。また、両隣の灘区（人口137千人）や芦屋市（人口95千人）の人口を合わせると人口は446千人に及ぶが、この地域に限定すると人口に比べて病院（病床数）は少なく、急性期病院（病床数）は特に少ないと考えている。神戸大学医学部の協力のもと、脳神経外科や泌尿器科等の不足している診療科の医師の補充を行うと共に、内科及び外科医療の専門・高度化、救急及び母子周産期医療の拡充、六甲アイランド甲南病院を回復期中心の病院に機能分化することにより、甲南病院の急性期病床480床（緩和ケア20床含む）の病床稼働率85%（1日平均入院患者408人）は維持することが可能と考えている。

### 3. 医療のシステム化

#### (1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

- ・かかりつけ医等との連携を強化すると共に、高額医療機器の共同利用を促進し、紹介率及び逆紹介率を上昇させる。また、神戸市や東灘区医師会との協力のもと、公開講座等を積極的に実施することで地域の医療従事者の資質向上に寄与する。更に、救急受入体制を充実することで、「地域医療支援病院」の承認を兵庫県から受ける。
- ・心筋梗塞・脳卒中を含めた救急医療に 24 時間 365 日対応する。また、現在六甲アイランド甲南病院が受け持っている外科・循環器内科・整形外科・小児科の病院群輪番については、その機能を甲南病院が引き継ぐ。
- ・放射線治療については神戸低侵襲がん医療センターとの強い連携体制を構築することで、「兵庫県指定がん診療連携拠点病院」の指定を受ける。
- ・現在、六甲アイランド甲南病院で神戸市より指定を受けている「認知症疾患医療センター」は、平成 34 年 4 月に甲南病院へその機能を移す。
- ・神戸市より指定を受けている「災害対応病院」の指定を維持する。

#### (2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例
神戸大学医学部附属病院	①③④	心臓手術及び移植等高度医療にかかる連携
兵庫県立がんセンター	①③	がん高度医療にかかる連携
兵庫県立こども病院	①③	母子周産期高度医療にかかる連携
神戸市立医療センター中央市民病院	①③	心臓手術及び移植等高度医療にかかる連携
神戸低侵襲がん医療センター	①③	放射線治療にかかる連携
神戸赤十字病院（災害医療センター）	①③	心臓手術にかかる連携
神戸労災病院	①③	心臓手術にかかる連携
谷向病院	①③	結核患者にかかる連携
神鋼病院	①	
東神戸病院	①⑦	
宮地病院	①⑦	
住吉川病院	①⑦	
東加古川病院	⑨	医師臨床研修精神科研修協力病院
六甲アイランド甲南病院	①②④ ⑤⑥⑦	(甲南会開設)
開業医	①④⑤⑦	医師会症例検討会

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解析等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
特別養護老人ホーム ロングステージ御影	入院患者の後方支援	
特別養護老人ホーム 友愛苑	入院患者の後方支援	
グループホームひまわりの家	入院患者の後方支援	
高齢者ケアセンター甲南	入院患者の後方支援	
クラブ・アングラージュ御影	入院患者の後方支援	介護付有料老人ホーム
ベストライフ西宮	入院患者の後方支援	介護付有料老人ホーム
グットタイムリビング御影	入院患者の後方支援	介護付有料老人ホーム
特別養護老人ホーム セ・ラ・ヴィ	入院患者の後方支援	
グループホーム さち御影山手紫陽花	入院患者の後方支援	
グランフォレスト神戸六甲道	入院患者の後方支援	介護付有料老人ホーム
訪問看護ステーションメリー	入院患者の在宅支援	
甲南介護老人保健施設	入院患者の後方支援	(甲南会開設)
甲南訪問看護ステーション	入院患者の在宅支援	(甲南会開設)

(注) 医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設  
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加(住民の健康管理等)

地域住民向け公開講座の開催

地域学校からの依頼により救命救急講習会(AED講習会等)の開催

4. その他の特記事項

- ・地域住民への説明は、建設工事の説明と合わせて11月より年末にかけて複数回実施する予定である。
- ・現在、甲南病院と六甲アイランド甲南病院それぞれが兵庫県より基幹型臨床研修病院(定員6名)の指定を受けているが、平成32年度からその機能を甲南病院に集約する。
- ・現在、六甲アイランド甲南病院で行っている東灘消防署との年2回の症例検討会及び救急救命士の研修は、平成32年4月に甲南病院へその機能を移す。
- ・甲南病院と六甲アイランド甲南病院は、直行シャトルバスで繋ぐ。

甲南病院

開設に要する資金

資金計画

(単位：千円)

項目	所要額	自己資金	借入金		リース	備考
			福祉医療機構	三井住友銀行		
土地購入費						
設計管理費	162,000		162,000			
建物建設費	15,280,000		10,669,000	4,611,000		
医療機器購入費	3,000,000				3,000,000	
什器備品購入費						
保証金						
諸税	432,376	432,376				
開設運転資金						
その他費用						
計	18,874,376	432,376	10,831,000	4,611,000	3,000,000	

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	措置 期間	償還回数 年回×年	利率 %		22年4月 ~23年3月	23年4月 ~24年3月	24年4月 ~25年3月	25年4月 ~26年3月	26年4月 ~27年3月
福祉医療機構	3	12×30	0.4	元本	271,165	361,020	361,020	361,020	361,020
				利息	42,982	41,678	40,122	38,679	37,237
三井住友銀行		12×25	1.06	元本	184,638	184,428	184,428	184,428	184,428
				利息	43,750	41,906	39,838	37,881	35,926
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合計				元本	455,803	545,448	545,448	545,448	545,448
				利息	86,732	83,584	79,960	76,560	73,163
年度末借入金残額					14,588,688	14,043,240	13,497,792	12,952,344	12,406,896

## 損益的収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (22年4月～23年3月)	次年度 (23年4月～24年3月)	3年度 (24年4月～25年3月)	4年度 (25年4月～26年3月)	5年度 (26年4月～27年3月)
I 医業収益	11,915,000	12,213,000	12,178,000	12,178,000	12,178,000
II 医業費用	11,828,000	11,888,000	11,914,000	11,618,000	11,521,000
医業利益（医業損失）	87,000	325,000	264,000	560,000	657,000
III 医業外収益	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
IV 医業外費用	152,000	147,000	144,000	141,000	137,000
經常利益（經常損失）	▲ 39,000	204,000	146,000	445,000	546,000
V 特別利益	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
VI 特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期利益（税引前当期損失）	▲ 14,000	229,000	171,000	470,000	571,000
当期純利益（当期純損失）	▲ 19,800	223,200	165,200	464,200	565,200
前期繰越利益（前期繰越損失）	8,784,068	8,764,268	8,987,468	9,152,668	9,616,868
当期未処分利益（当期未処理損失）	8,764,268	8,987,468	9,152,668	9,616,868	10,182,068

## 資本的収支予算書

（単位：千円）

		初年度 (22年4月～23年3月)	次年度 (23年4月～24年3月)	3年度 (24年4月～25年3月)	4年度 (25年4月～26年3月)	5年度 (26年4月～27年3月)
資本的支出	建設改良費					
	借入金（元本）償還	455,803	545,448	545,448	545,448	545,448
	固定資産購入費その他	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	計	555,803	645,448	645,448	645,448	645,448
財源内訳	内部資金	638,200	850,200	830,200	1,108,200	1,203,200
	借入金					
	補助金					
	その他					
	計	638,200	850,200	830,200	1,108,200	1,203,200
財源不足額		82,397	204,752	184,752	462,752	557,752